

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
疾病と傷害9						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験	
柔道整復学科・夜間部	2年	4期	林 一徳		○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門分野	疾病と傷害			座学	1	10
科目概要						
整形外科におけるスポーツ整形外科・リハビリテーション・疾患別各論(感染疾患、骨及び軟部腫瘍、非感染性軟部・骨関節疾患、全身の骨・軟部疾患)の知識を教授、さらに病態、診断法、治療法および合併症についても教授する。						
目標						
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師として、臨床現場にて活躍できるように、整形外科学のスポーツ整形外科総論、リハビリテーション総論、そして各疾患別各論の知識を習得する					
	以下の内容を理解し、複数の選択肢の中から正しい選択肢を選ぶことができる。 1. 整形外科学的用語。 2. 整形外科学的疾患(感染疾患、骨及び軟部腫瘍、非感染性軟部・骨関節疾患、全身の骨・軟部疾患)の病態。 3. 整形外科学的疾患(感染疾患、骨及び軟部腫瘍、非感染性軟部・骨関節疾患、全身の骨・軟部疾患)とその治療法。 4. 整形外科学的診断法と治療法の関連。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、定量的な指標(合格基準)						
履修に必要な予備知識や技能						
解剖学・生理学の基礎知識に加え、整形外科学総論で習った基礎知識。						
教科書・参考書						
全国柔道整復学校協会監修「整形外科学」改訂第4版						
受講上の注意						
授業の雰囲気に影響する私語を慎むこと。手洗いに立つときは断りは不要。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他
評価割合(%)	100					100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	視覚授業・試験解説、感染性疾患・骨腫瘍			P.85~94	試験問題 筆記用具	
第2回	骨腫瘍・非感染性軟部・骨関節疾患			P.94~101	筆記用具	
第3回	関節リウマチ・痛風・偽痛風			P.101~109	筆記用具	
第4回	その他関節炎・骨粗鬆症・骨系統疾患			P.109~118	筆記用具	
第5回	骨系統疾患			P.119~126	筆記用具	
第6回	骨端症・四肢循環障害			P.126~135	筆記用具	
第7回	神経・筋疾患			P.135~144	筆記用具	
第8回	脊髄腫瘍・身体部位別各論 胸部の損傷・腰部の損傷			P.145~169	筆記用具	
第9回	定期試験				筆記用具	
第10回	試験解説授業、(胸部の損傷・腰部の損傷) パワーポイントによる視覚授業			P.154~169	試験問題 筆記用具	
実務経験と本講義との関連について						
1980年、医学部卒業後、大学病院、市中病院勤務後、現在は、診療所院長として整形外科・リハビリテーション科を中心に診療している。39年間の臨床研究経験をもとに整形外科の知識を教授する。						
メールアドレス						
質問等は授業後に対応						